

米松乾燥材、杉集成管柱7000〜8000円値上げ

中国木材

21日納品分から

米松・国産材製材最大手の中国木材（広島県呉市、堀川智子社長）は、21日納品分から米松製品、杉集成管柱の値上げを実施した。製品の値上げは今年に入って3度目。船運賃を含めて丸太仕入れコストは跳ね上がり、先行きも強基調が予想される。同社は製品の安定供給を図るため丸太確保に力を入れる。

日本向け米松丸太価^{ドル}高で決着し、先行き数は好調を維持し北米格は3月積みの30^{ドル}高も全く読めない状況 製材市況は活況を呈しに続いて4月積みも30^{ドル}だ。米国の住宅着工戸^{千戸}ており、2×4部材等

の製品価格の上昇はとどまる気配が見えない。また、夏場にかけて虫害木やファイヤークロージャー等により丸太供給がタイトになることも懸念される。

一方、国内では、米材輸入製品や北欧材製

品の急騰に加え、入荷

の遅れによる供給不足

も表面化し、仮需要を

含めてプレカット流通

等の製品確保の動きは

一段と激しくなってい

る。同社では米松製品

だけでなく、杉集成管

柱等杉製品の販売量が

3月以降大幅に増えて

いる。乾燥をはじめ工

場の生産能力が限られ

ているため、昨年末か

らドライ・ビーム正角

や米松乾燥小割の販売

数量を制限しており、

今月にはドライ・ビー

ム平角や杉集成管柱も

含め、ほぼ全製品の販

売制限に踏み切った。

今回はさらに大幅な

値上げで、ドライ・ビ

ーム、乾燥小割、杉集

成管柱で7000〜8

000円高、米松グリ

ン（平角、正角、小

割）で4000〜50

00円高を発表した。

昨年末に続いて今年も

3月1日、同22日に値

上げしており、今回で

3回目。値上げ幅の合

計はドライ・ビーム正

角1万8000〜90

00円高、乾燥小割1

万7000〜8000

円高、ドライ・ビーム

平角1万5000〜6

000円高。2カ月足

らずでこれまでにない

高騰となっている。

市場相場は、ドライ

・ビーム平角6万70

00〜90000円、同

正角7万7000〜9

000円、米松乾燥小

割で4万000〜5万

000円、杉集成管柱

6万6000〜7万

000円、米松乾燥小

割で4万000〜5万

000円、杉集成管柱

6万6000〜7万

000円、米松乾燥小

割で4万000〜5万

000円、杉集成管柱

6万6000〜7万

000円、米松乾燥小

割7万9000〜8万

20000円、米松グリ

ン（平角、正角）5万

5000〜80000

円、同小割5万900

0〜6万20000円、

杉集成管柱6万600

0〜90000円に付い

てくる。

同社は在来軸組住宅

の構造材の安定供給が

使命で、今後も高値に

付いても米松原木の確

保を目指す。米国内

向け製品価格に近付

けるための値上げで、販

売先に理解を求めてい

く。また、国産杉丸太価

格も高騰しており供給

が厳しくなっている。